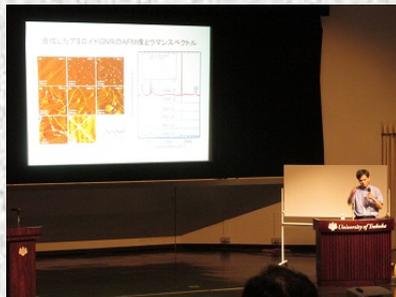


# 平成26年度 TIMS研究交流会 報告書

7月8日に開催された“TIMS”研究交流会について報告いたします。

筑波大学学際物質科学研究センター（TIMS）では定期的に研究交流会を開催してまいりました。従来は学内の催しでしたが、今年度は学外にも公開いたしました。

学内講師として、藤田教授、後藤准教授、西村准教授、西堀教授が講演しました。



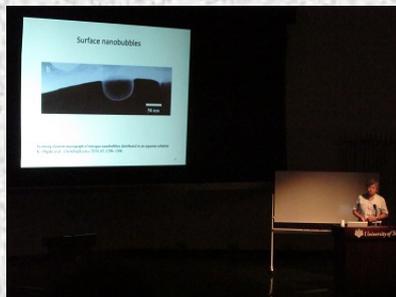
**藤田 淳一 教授**  
(ナノ構造物性コア)

炭素系低次元材料の人工的な次元・構造制御合成と物性



**後藤 博正 准教授**  
(機能性カーボンコア)

ポリアニリンコンポジットの合成と応用



**西村 賢宣 准教授**  
(分子光機能コア)

過渡吸収法による酸素ナノバブルの研究



**西堀 英治 教授**  
(筑波大学物理学域)

放射光X線を用いたナノ空間を有する物質の構造科学研究



学外の講師としては、

“旭化成株式会社・フェロー・**吉野 彰**”様をお招きいたしました。

演題は、”**リチウムイオン電池 現在・過去・未来**”

吉野氏の功績なくして、今日のリチウムイオン電池の隆盛はなかったといわれている方で、そのご本人から貴重なお話を伺えました。



“リチウムイオン電池”隆盛の市場推移と成功要因、  
将来に関する予測等、示唆に富むご講演でした。

吉野様、厚く御礼申し上げます。